

実践事例 中学部1年／教科別の指導: 数学

『自分で深く考え、ちょうどの時刻を読んで切符を購入し、電車に乗って九州一周しよう』

1. 生徒の実態と望む姿

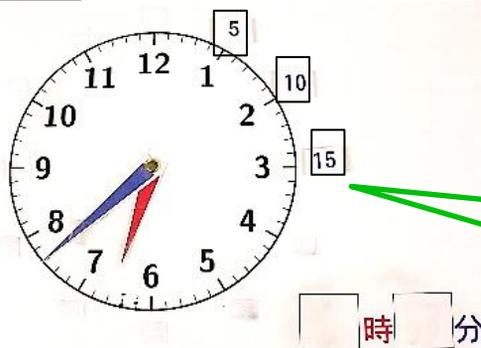
- ・ 中学部1年女子生徒
 - ・ テレビ番組（特にお笑い）などでは、教師と笑顔で話をする
 - ・ 学習内容にかかわる教師の問いかけには、下を向き、自分のことばで発することが少ない
 - ・ 問題を解く途中でわからなくなった場合に、自分で修正することが難しい
- そこで、本題材では以下の望む姿を設定した。

自分で深く考えて問題を解き、自信を持って解き進めてほしい

- ・ 本題材では、ちょうどの時刻を読んで切符を購入し、電車駒を進めながら、九州一周をめざすゲームを行うようにした。

2. 授業のポイント

ポイント1 深く考えるための教具の工夫



【どのような内容をどの順番で指導するかを検討】

- ・ 5分単位の読み方を確認して、読む
- ・ 5分単位の数字カードを自分で貼り、見て読む
- ・ 5分単位の数字カードなしで、読む

5分単位の長針の読み方を自分で確認できるように、数字を貼るようにした。数字カードに面ファスナーを貼り、取り外しができるようにし、付けたり、はずしたりして段階的に指導することが可能。

授業構想チェックシート 意欲チェック 教具の工夫⑧⑨⑪ P.6 参照

ポイント2 成功体験を積み重ね、自信をもって取り組むための題材計画の工夫

【どのような内容をどの順番で指導するか検討】

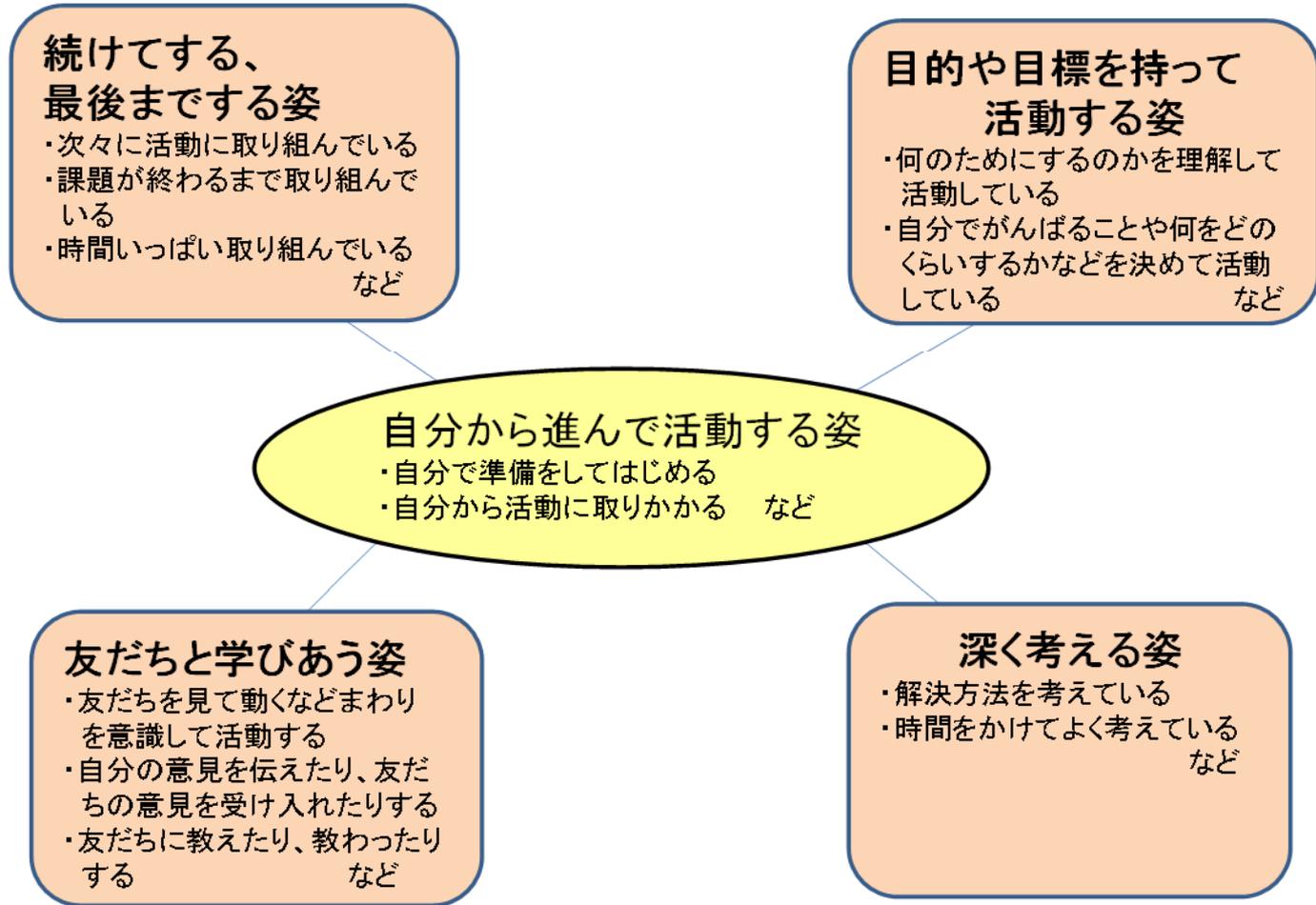
- ・ 〇時を固定→〇時が変化する(くもん時計で教師と確認)
- ・ 長針は、〇時ちょうど・〇時半→10分単位→5分単位(0~30, 35~55)→1分単位

指導する内容を細分化し、成功体験を重ねられるような計画にした

1	234		5	6	7	8・9
活動の仕組みを知り、時刻を読むという課題を持つ	長針の読み方					・すべての問題 5分単位の数字カードなし
	ちょうど	10分単位	5分単位		1分単位	
	〇時半	0~30	5~55	5~30	35~55	
		5分単位の数字カードあり	自分で5分単位の数字を付けて確認してから、時刻を読む			

授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動の工夫⑤⑩⑬ P. 5 参照

児童生徒が意欲的に取り組む姿



自分から進んで活動する姿を基盤にし、
児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる